

2018.9.16 年間第24主日

わたしに従いなさい

マルコによる福音 8:27-35

(そのとき、) イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と言われた。弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。

それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。しかも、そのことをはっきりとお話しになった。すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」それから、群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである。」

説教

もりだくさんの福音です。

丼物にたとえれば、かつ丼、天丼、ウナギ丼がひとつのどんぶりに盛ってでてきたような感じですか。

かんたんに箇条書きにするとこうなります。

1.ペテロの信仰告白

2.メシアの秘密

3.自分の十字架

ペテロはイエスにそれではあなたは私を何者だと思いか、と尋ねられ、ペテロはメシアですと答えます。でもその回答はイエスには不足だったようで受難予告のあとにペテロを手厳しく叱ります。イエスはこれまでのようにメシアを秘密にしないでと言っています。また、自分の十字架を背負ってわたしに従いなさいと命じています。

わたしは何者か？メシアです。人の子はかならず苦しみを受け、殺され、三日後に復活する。なにをバカなことを言っているのですか。さがれサタン。自分の十字架を背負え。

ふつうに考えるとメシア=救い主はスーパーヒーローで悪をくじき正義をもたらすものです。そのメシア=キリストが殺され復活すると聞かされると、やめてくださいと言いたくなります。同じ人間としてペテロの気持ちはよくわかります。でもイエスは「人間のことを想っている」と叱責します。人の子の受難と同じようにあなたも受難を甘んじて受けなさい、自分の十字架を背負いなさい、と薦めています。言い換えると「受難の拡大」です。ふつうに考えればへんです。常識外れです。正気の沙汰とは思えません。

宗教は常識ではありません。どのような宗教も核心部分は狂気であり、キリスト教も同じです。きょうの福音を常識的に読んだり、理性的に読んでも誤解します。

おかしいものはおかしいままに。何も足さずに、何も引かずに、そのままに福音を味わうことができますように。「わたしに従いなさい」という主の呼びかけをこころの深いところで受け止めることができますように。
